

農 研 速 報

平成 28 年 10 月 6 日発行
 茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
 〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974
 TEL: 0297-62-0206 FAX: 0297-64-0667

大豆の生育状況(9月28日現在)

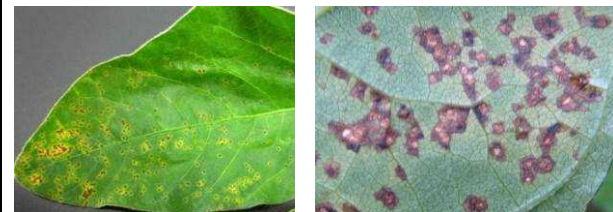
地 域 名	生育ステージ		生育(作柄・品質)概況	備考
	本 年	対 平 年 遅 速		
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	タチナガハ 粒肥大期	平年並	<p>龍ヶ崎における8月第6半旬～9月第5半旬の気象および大豆の生育概況は下記のとおりである。</p> <p>【気象】 ○気 温: 日平均気温は平年とほぼ同様に推移した(図2)。 ○降 水 量: 平年比 114%であった(図3)。 ○日照時間: 9月第3半旬以降日照時間が平年比 19～23%と極めて少なく推移したことから平年比 62%であった(図4)。</p> <p>【生育】 <u>タチナガハ</u>: 平年より主茎長はやや長く、分枝数はやや多く、茎の太さはやや太い。株あたりの莢数は平年比 71%と少なく、さらに莢の重さが平年比 61%と軽いことから地上部生体重は平年比 75%と軽い。加えて上位葉の落葉が認められる。 <u>里のほほえみ</u>: 主茎長、主茎節数、茎の太さは前年と同程度で分枝数はやや少ない。株あたりの莢数は前年と同程度であるものの、莢の重さが前年比 60%と軽いことから地上部生体重は前年比 81%と軽い。 <u>納豆小粒</u>: 平年より主茎長はやや長く、分枝数は多い。主茎節数と茎の太さは平年と同程度である。株あたりの莢数は平年比 69%と少なく、さらに莢の重さが平年比 80%と軽いことから地上部生体重は平年比 76%と軽い。</p> <p>本圃では葉焼病の発生に加え、台風などによる風雨の影響で上位葉の痛みや落葉が認められる。 現在の生育状況は次ページ表1、図1のとおりである。</p>	<p>●病虫害防除をこれまでに3回実施した。 ・莢害虫防除: 8/9, 8/26, 9/6 ・紫斑病防除: 8/26, 9/6</p> <p>○上位葉の痛みや落葉が認められることから成熟期が平年より前後する可能性が考えられる。収穫準備を進め適期収穫に備える。</p> <p>◆葉焼病は細菌による病気である。気孔や傷口などから侵入するため台風などの後に発生が多くなる。罹病すると子実の肥大が劣り減収につながる。</p> <p><診断のポイント> ・病斑の周囲に淡黄色の縁取りができる。 ・葉裏の病斑中央部は少し盛り上がる。</p> <div data-bbox="1464 954 2074 1166">  </div> <p>葉焼病の病斑(葉の表面) 葉裏の病斑は隆起がみられる</p> <p><今後の対策> ・発病の程度が軽い圃場では農薬登録された銅剤を散布する。 ・病原細菌は種子や被害茎葉について越冬するので連作を避ける。</p>
	里のほほえみ 粒肥大期	-		
	納豆小粒 粒肥大期	平年並		

表 1 大豆の生育状況(「タチナガハ」,「里のほほえみ」;9月25日(播種後100日)調査,「納豆小粒」;9月28日(播種後101日)調査)

品 種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	8月1日	±0 (8月1日)	+1 (7月31日)	64.0	128 (49.9)	109 (58.6)	14.5	107 (13.6)	105 (13.8)	4.9	88 (5.6)	111 (4.4)	11.6	73 (10.7)	107 (10.8)
里のほほえみ	8月2日	+1 (8月1日)	-	59.8	98 (61.0)	-	14.2	95 (14.9)	-	4.3	88 (4.9)	-	13.0	102 (12.8)	-
納豆小粒	8月8日	±0 (8月8日)	+2 (8月6日)	84.4	118 (71.6)	107 (79.2)	18.0	102 (17.7)	103 (17.4)	9.0	118 (7.6)	118 (7.6)	10.9	103 (10.6)	96 (11.4)

品 種	地上部生体重			一株莢数			一莢重			一株莢重		
	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/莢)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	232	72 (321)	75 (308)	60	67 (90)	71 (85)	0.86	62 (1.39)	61 (1.40)	51.7	41 (124.8)	46 (112.6)
里のほほえみ	246	81 (302)	-	89	105 (85)	-	0.73	60 (1.21)	-	64.8	63 (102.2)	-
納豆小粒	256	84 (305)	76 (338)	167	78 (215)	69 (243)	0.37	86 (0.43)	80 (0.46)	61.6	67 (91.7)	58 (106.4)

【耕種概要】

- 1) 圃場(来歴): 中粗粒灰色低地土(輪換畑, 転換2年目, 前作麦)
- 2) 播種日: 6月19日, 栽植密度: 11.1株/m²(畦間60cm×株間15cm)1本立て, 施肥量: N-P₂O₅-K₂O: 0.3-1.2-1.2(kg/a)

【平年値および注意】

- 1) ()内は前年値または平年値。平年値は直近5か年分(平成22年~27年, 平成24年は天候不順により播種期が7日遅れたため除外)のデータ平均値。
「里のほほえみ」は平成27年度から実施のため平年値のデータなし。
- 2) 茎の太さは第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の中間で最も太い部分を測定。
- 3) 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ。

タチナガハ



里のほほえみ



納豆小粒



図 1 所内大豆の生育状況(9月27日撮影)

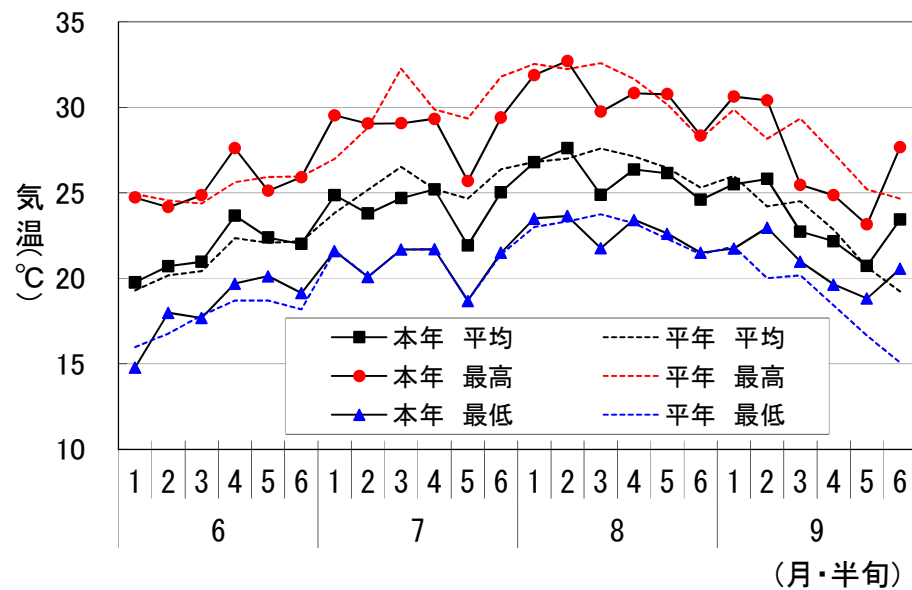


図2 最高・最低・平均気温の推移

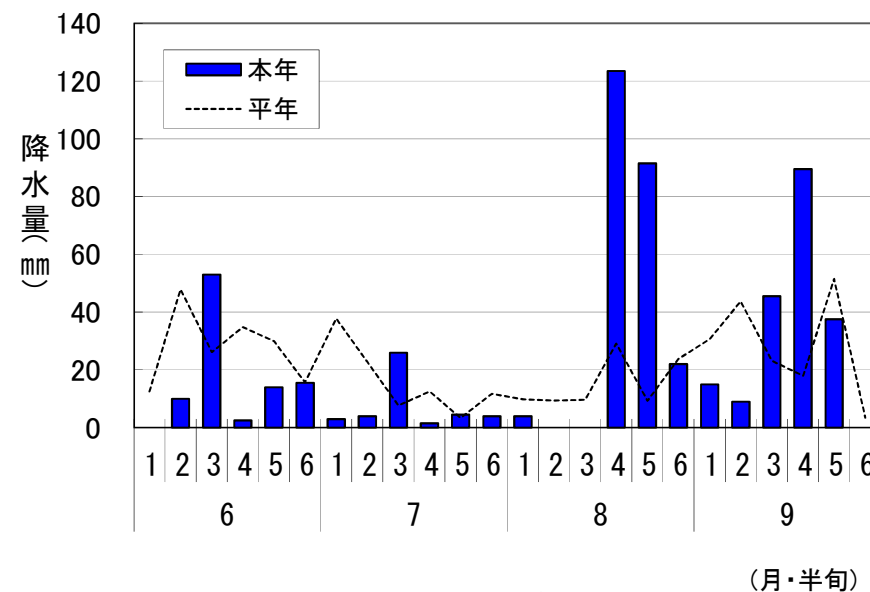


図3 半旬別降水量の推移

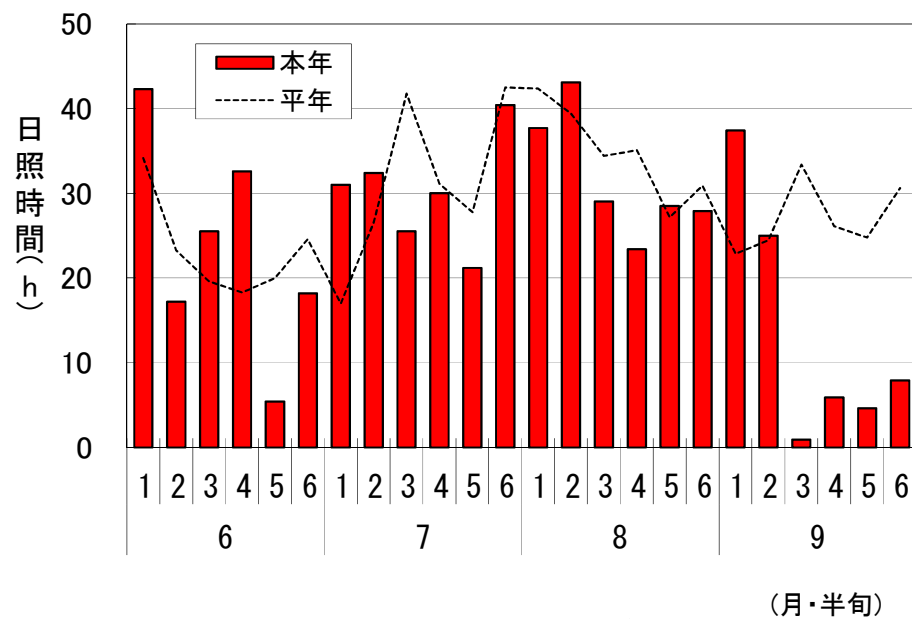


図4 半旬別日照時間の推移

※龍ヶ崎アメダスデータ参照, 平年値は直近5ヶ年の平均値